

御船町まち・ひと・しごと創生総合戦略（「人口ビジョン」「総合戦略」）の全体像

◆人口ビジョン

中長期展望（2060年を視野）

熊本県人口ビジョン
 ◎2060年の熊本県の人口について、国に準拠した推計（117万6千人）に対し、144万4千人までの減少に抑えるという将来展望を提示。

御船町人口ビジョン
 [基本的視点]
 ○社会全体の人口減少を認識した上でのまちづくりの推進
 ○ライフステージにあわせた定住の取組、多世代が活動できる場の活性化
 ○住みやすく、子育てしやすいまちとして町の魅力をアピール

[目指すべき将来の方向性]
 ●新たな人の流れをつくる
 ●御船で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる
 ●魅力ある雇用の場を創出する

[将来の人口展望]
 ◎国立社会保障・人口問題研究所に準拠した推計（2060年（平成72年）約1.1万人…①）に対し、社会増減を±0となるような施策を展開しつつ、合計特殊出生率の向上に取り組み、①による推計結果の2,300人程度増加の13,374人を目指す。

◆総合戦略（平成27年度～31年度の5か年）

目指すイメージ

住みたい！ 住んでよかった！ スマイルみふね

基本目標・数値目標

御船の素材を活かし、新たなひとの流れをつくる
社会増減
 ▲17人（H26）
 →±0（H31）

住みやすさNo.1のまちを目指して、住民主体による地域づくりを進める
住民が主体となつて行う地域活動の満足度
 47.4%→55.0%

御船で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる
合計特殊出生率
 1.55（H26）
 →1.67（H31）

御船の特性を活かした魅力ある雇用の場を創出する
一人あたりの御船町の所得推計
 197.9万円（H24）
 →200万円（H28）

重点プロジェクト（施策）

重要業績評価指標（KPI）

想定される事業

御船町にちなみプロジェクト

御船町にゆかりのある人や現役世代をターゲットとした御船町のよさの発信と受入体制を構築します。

■移住定住の相談件数
 3件（H27）→50件/5年
 ■転入者数
 623人（H26）→3,220人/5年

- 子ども未来塾を中心とした放課後教育の実施
- 学校施設のICT環境整備
- 御船学講座の展開
- みふねっ子Uターン制度（同居含む）の新設
- 移住・定住総合相談窓口の設置
- 転入ファミリーへの住宅取得補助制度等の支援制度創設
- 空き家情報バンクや空き家活用リフォーム助成の実施

御船DINOワールドプロジェクト

御船町恐竜博物館の更なる魅力化による集客性確保と、官民一体となった観光振興策を展開します。

■観光統計による観光客数
 328千人（H26）→350千人（H31）

- 観光協会体制強化支援
- 御船町地域特産品・誉れ認定事業（ブランド化推進）
- 恐竜、観光ガイド育成事業
- 御船町化石ひろば環境整備事業
- 出張御船町恐竜博物館特別展事業

御船ワイワイプロジェクト

自然豊かな中山間地の地域コミュニティ維持・向上の取り組みを支援します。

■農産物出荷組織の参加人数
 15人（H27）→30人（H31）
 ■地域づくり推進組織の設立数
 1組織（H27）→3組織（H31）

- 高齢者の元気づくり事業・地域づくり推進支援事業
- 職員による地域活動サポート支援事業
- 地域づくりリーダー育成事業
- 「小さな拠点」の整備検討

誰もが安心して結婚、出産できるプロジェクト

出会いを応援する情報提供、仕組みづくりや、子育てに向かう心理的な負担を取り除く取り組みを進めます。

■未婚率
 46.7%（H27）→43.0%（H31）
 ■出生数
 133人（H26）→660人/5年

- 若者の出会いの場創出事業
- 病児・病後児保育事業
- ひとり親医療費支給事業
- 子ども医療費助成事業
- 延長保育事業
- 広報活動事業

元気な農林業プロジェクト

大規模農家の農業法人化や農業法人による雇用促進、就農を目指す若者に対する支援による担い手育成を行います。

■農業法人数
 4社（H27）→7社（H31）
 ■農業法人の雇用者数
 10人（H26）→16人（H31）

- 就農相談窓口の設置
- 就農希望者を対象とした、農業法人や認定農業者による実践研修の実施
- 青年就農給付金事業

御船で働こうプロジェクト

新たな商品開発から新たな産業創出、既存産業・地元事業者の活性化により、地元での安定した雇用を創出します。

■新規起業家数
 4件（H26）→25件/5年
 ■企業立地件数
 5件/5年→5件/5年

- 事業者交流事業
- インター周辺の産業集積の選定検討
- 廃校施設の利活用事業
- 創業支援事業